

開会の辞

S.バイガルサイハン

(日本モンゴル文学会副会長、モンゴル国科学功労者、博士 (Sc. D)、教授)

みなさまに〔開会の〕ごあいさつを申し上げます。

2022 年度の日本モンゴル文学会秋季研究発表会が本日開催の運びとなりました。本年 2022 年にはモンゴル文学史上特筆すべき多くの出来事がありました。たとえば、二十世紀モンゴル短編小説の卓越した代表者の一人であった J.ルハグワ〔1942-1998〕の生誕 80 周年記念学術会議が組織されました。また、モンゴル国労働英雄・国民栄誉作家のタンガディーン・ガルサン氏〔1932-〕の生誕 90 周年記念学術会議と書籍祭（ブックフェスティバル）が挙行されました。さらに、二十世紀モンゴル文学の理論研究者であり著名な文学者でもあったソノミーン・ロブサンワンダン〔1932-1992〕の生誕 90 周年記念学術会議が組織され、多数の学者が研究発表を行いました。2022 年 11 月 10 日にはモンゴル国文化省主催の「文学研究／批評／協力／政策」というフォーラムが組織され、この催しに文学、図書、出版に關係する百名あまりの代表者が参加し、活発な公開討論が行われました。

まもなく、二十世紀モンゴル文学の創始者の一人であり著名な作家でもあったソノムバルジリーン・ボヤンネメフ〔1902-1937〕の生誕 120 周年記念に向けた学術会議「ボヤンネメフとその時代」が組織されようとしています。また本年、モンゴル文学に關係する多数の研究書、辞典（事典）、珠玉集が出版されました。たとえば、〔モンゴル科学アカデミー〕言語文学研究所研究員の G.ビルグデー博士と D.ボロルマー博士の共著『ツェンド公訳モンゴル秘史註釈付原典』という 3 巻本が出版されました。本書は、ツェンド公が『モンゴル秘史 (Mongyul-un niyuča tobciyan)』を〔現代語〕訳した『元朝秘史 (Yuwan ulus-un niyuča teüke)』という手写本の原典を新文字（キリル式モンゴル文字）に翻字し、学術的な註釈をほどこし、他の原典と比較校訂し、3 巻本として出版したものです。この註釈付原典には、延べ数で 8,700 語以上の語に註釈が付されており、註釈の付された語は斜体（イタリック体）で書かれ、古いモンゴル文字（ウイグル式モンゴル文字）で書かれた語は新文字転写（キリル文字転写）して区別するとともに、語の意味を解説したり若干の誤記された語を修正したりするなどして、詳細な註釈と簡略な註釈という二種類の註釈がほどこされています。本書を著わした G.ビルグデー博士と D.ボロルマー博士には感謝申し上げます。つい最近、モンゴル国立大学〔総合科学部〕のモンゴル文学研究室の先生方が、Ch.ビリグサイハン先生〔1946-2012〕（モンゴル国功労教員、博士 (Sc. D)、教授）の 2 巻本の学術研究書を出版されました。この著作を監修されたモンゴル国立大学のモンゴル文学研究室の先生方にも感謝の意を表します。

2022 年 11 月 22 日、私たちは 3 巻本の『モンゴル文学百科事典』の出版祝賀会を行いました。この事典は、科学アカデミー言語文学研究所の文学研究、口承文芸研究、チベット研究の各部門の 30 名あまりの研究者が共同で著わしたものです。全部で 190 枚以上の印刷全紙〔ページに裁断する前の 60×84cm, 60×92cm, 70×92cm, 70×108cm, 84×108cm の 5 種類のサイズのいずれかの印刷用紙〕と約 3,300 項目（見出し語）からなる事典です。モンゴル古典文学、二十世紀〔モンゴル〕文学、モンゴル口承文芸、西洋文学、東洋文学、モンゴル系諸民族文学、モンゴルにおけるチベット語文学、文学研究者、文学者、彼らの著作、文学理論の概念、専門用語（術語）など、広範な内容を含んだ点に特徴がある事典です。

本日行われる 2022 年度の日本モンゴル文学会の定例研究会は、2022 年における文学活動を高め、次なる新たな研究、新たな事業の出発点の基礎を固めるものと見ております。2023 年には定例の国際モンゴル学者大会を組織するべく計画を立てております。その時にウランバートル市で日本モンゴル文学会の定例の研究会を組織することも可能です。[最後に] みなさまに新年のごあいさつを申し上げ、お仕事のご成功を祈念いたしますとともに、ここに 2022 年度の日本モンゴル文学会秋季研究発表会の開会の辞といたします。